

市民公開講座 第35回ひと・健康・未来シンポジウム 2026 京都

「人生100年時代 生き生きと、健やかな脳と心血管を保とう」開催のお知らせ

循環器病対策情報センター長
飯原弘二

皆さん、こんにちは！

現在、循環器病対策情報センターは、令和8年度の「脳卒中・心臓病等の対策に係る総合推進事業」の本格的な実施に向けて、厚生労働省との定期的な会合を進めています。その4つの柱の中で、「循環器病に関する情報収集と科学的根拠に基づく国民への情報発信に係る事業」があります。循環器病に関する、公正で信頼できる情報を、国民の皆様へ届けることが、この事業のミッションです。

さて、令和8年5月9日（土）に、公益財団法人ひと・健康・未来研究財団の第35市民公開講座として、「人生100年時代 生き生きと、健やかな脳と心血管を保とう」が開催されます（資料1）。この企画を依頼され、循環器病対策の最新の動向がわかる企画をまとめました。その趣旨は、以下のとおりです。

「人生100年時代、人生を最期まで健康にエンジョイしたいものですね。国は、循環器病対策として、予防から発症してからの急性期の医療、そしてリハビリテーションと切れ目のない医療、そして介護を提供するべく、政策を打とうとしています。

「人は血管とともに老いる」という言葉は、有名はオスラー博士の言葉です。今回は、脳と心血管を健やかに保つために、脳と心臓の予防医学から、生きがい、そして国の政策まで、一緒に考えませんか？」

この市民公開講座では、最初に私が、「脳卒中を防ぐ、治す、支える—データから紐解く対策とは？」を、ついで慶應大学公衆衛生学教授の岡村智教先生が、「食べて、動いて、恋をして(?)—健康長寿の秘訣—」を、最後に厚生労働省 がん・疾病対策課から、松浦朋美課長補佐が、「第2期循環器病対策推進基本計画の取組」を、講演します。

循環器病対策としても、大変タイムリーで、興味深い講演ですので、是非参加していただき、最新の知見を共有しませんか？

最後になりましたが、今後とも循環器病対策情報センターの活動にご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上